

第 1805 回例会報告

会長告知 会長 萩田 均

クラブ会員卓話に思う

クラブ会報委員会にはお礼を申し上げます。会員卓話は大切な例会のプログラムと思います。私たちは思想や、考え、職業の違う者同士が集まって諏訪湖ロータリークラブです。それぞれを尊重しあい、尊敬しているから組織として活動しているものと確信します。

昨日、選挙管理委員として下諏訪中学校へ、主権者教育に行っていました。本年は選挙についての講演と共に、実際に使っている投票箱などを使い模擬投票を体験してもらいました。そのおかげにより、多くの質問と共に、関心を寄せていただき、主権者とは、民主主義とは、について考える良い機会となりました。

社会においてもわたしたちクラブにおいても、みんなで支えあい、創り上げていく大切な民主主義と思います。特に小林聖仁会員は、そのことを実践している方で様々な役職をし、諏訪湖ロータリークラブに貢献されている小林会員の卓話を、今日は楽しみにしていました。小林長老、本日はよろしくお願ひします。

◆幹事報告◆ 幹事 望月 勉

【報告事項】

1. 県より薬物乱用防止のための募金依頼が来ています。募金箱を回しますのでご協力お願いします。
2. 11月11日地区大会1日目の本会議の壇上にて、「2022-2023 年度米山寄付達成クラブ」として、当クラブが表彰される予定です。

【連絡事項】

1. 11/12地区大会後マリオさんにて夕食会を開催いたします。地区大会を欠席される方も是非ご出席ください。地区大会に出席される方は、ご本人の名札をお持ちください。
2. 地域づくりx縄文ミーティングのご案内が来ています。

【受領文書】ロータリーの友、月信

令和5年 11月 2日(木)晴

◇誕生日おめでとう◇



河西達雄会員

◇委員会報告◇

18日(土)~19日(日)大津中央 RC 交流会をからすま京都ホテル宿泊にて行います。大型観光バス旅行にて東福寺の紅葉・大原三千院見学を企画しました。夜の交流会も楽しみです。夫婦同伴参加も歓迎です。競ってお申込み下さい。クラブ奉仕委員会

【出席報告とニコボックス】

会計よりニコニコボックス集計の間違ひの指摘があり本年度集計を一括訂正報告致します。

開設日	利用者数	今回の金額	累計額	目標達成率%
7月 6日	17	27,000	27,000	4.5
7月 13日	12	12,000	39,000	6.5
7月 20日	7	11,000	50,000	8.3
7月 27日	12	13,000	63,000	10.5
8月 3日	15	18,000	81,000	13.5
8月 24日	7	11,000	92,000	15.3
9月 14日	7	11,000	103,000	17.2
9月 28日	13	43,000	146,000	24.3
10月 26日	11	33,000	179,000	29.8
11月 2日 出席報告		ニコニコボックス		
		利用人数	今回の金額	
会員数	32人	11人	26,000円	
出席対象	31人	前回累計	179,000円	
出席者数	20人	累計	205,000円	
出席率	64.5%	目標額	60万円	
前回修正出席率	67.7%	達成率	34.2%	



世界に希望を生み出そう

2023-2024 年度 諏訪湖ロータリー活動方針

「ロータリー 新たな一歩」



出席・ニコニコボックス

報告 高山巖会員

- 小林聖仁様、職業奉仕担当例会との振替の無理をお聞き頂きありがとうございます。 宮澤孝良
- 宮坂英貴さん、下諏訪商工会議所青年部会長のお務めご苦労様でした。 河西達雄
- 小林会員、お忙しい中 日程調整しての講師をお引き受けに感謝申し上げます。 御子柴文夫
- 小林長老、本日は宜しく願います。 萩田均
- 10月10日80歳になりました。 小林聖仁

◇例会内容◇

クラブ会報・雑誌広報委員会担当例会
小林聖仁会員卓話配布資料

「奉仕の理想は利他行の実践」



○人と人との繋がり、支え合いから共に生きる力が湧いてくる

・心豊かな人が住む街づくりこそ更生保護活動であり、僧侶の務め。
育児放棄されたり、児童虐待をされたりした母の親が育児放棄・児童虐待を繰り返す。
「生まれてきてゴメンナサイ」と児に言わせる親。
「生まれてきてくれてアリガトウ」に気づかせることは簡単ではない。無償の愛をもらっているのは親の方なのに。
これら保護観察に処されたものに、裏切られても騙されても、諦めずに更生を信じ続けてきた。しかし、本人の本気度が対象者に伝わらなければ心は開かない。犯罪や非行は社会が生み出してきたものと意識して更生保護活動に取り組んできた。これからも。

ORC の職業奉仕と僧侶の務め

・職業奉仕は「自分自身を律し、自分の職業を通じて社会に奉仕する」ですよね。社会奉仕と職業奉仕の違いも、受益者が誰かで解りますよね。受益者は俺たち会員自身。このクラブで学んだこと、人間として成長させていただいたことを生かし社会に尽くす。
・僧侶の立場では職業奉仕は利他行の実践だ。「最も奉仕する者は、最も報われる」というが、僧侶は報われることを求めてはいけない。奉仕のしつぱなし。してやったもダメ。ただ利他行の実践あるのみ。
○「利他行」とは、ほかの人や全ての生き物のために生きる生き方のこと。

そんなこと聖人君子でないオレにはできない。と決めつけちゃあお終いよ。もちろん出来ることと出来ないことがある。いまの自分に出来ることを誠実にやれば良い。この世に生を受けた者は誰でも老いて、病んで死んでゆく。そう思うと今日の一日の生き方、過ごし方が貴重なものになってくる。だから、自分の歩幅で出来る範囲で利他行を真面目に実践する生き方が大切だ。利他行の心は放っておけない、思わずやってしまった。させていたでいる。してやっているの逆だ。利他の心は与えるという意識無いもの。ヒンズー教では「ありがとう」と言われたくない。一方的に奉仕する。与える。考え方。利己と利己が混在する人間の心。(たとえば、美味しいものを食べさせたい)これを、どこで自他不二の境地に修めるか。永遠の課題。

○長崎政直会員は

自利と利他が対立するとき、利他を優先させる。利己と利他を調和させる。「忘己」「滅私」は仏の境地だ。と述べた。(滅私利他と忘己利他は同義語)利他行は布施行にも通ずる。

○10/13のミンダナオの子供たちに関わっての講演があった。「生きる力を育む」松井氏も西村さんも、その関りの中で自分が人として成長できる喜びを語った。まさに利他行の実践だ。人の喜びはわが喜び。人のために何かをしたい。松井氏も西村さんも「活動を通じてみんな家族になった」と言っていた。やれることをやる。やりがいは、生きがになり、生きる力になる。



小林聖仁会員撮影

成長するヒントを与えられるのがロータリークラブ、と卓話を締めくくられました。何気なく交わっている挨拶も誰かの役に立っていると気が付きました。なかなか真似できない利他行の実践、ロータリアンとして自分の歩幅で実践したいですね。

10月26日開催の理事会概要報告は
小笠原仁会員と牛山事務局員のご尽力により
議事録が配布されましたので概要報告は不要となりましたことを御通知申し上げます。広報委員会